

# よろこびの泉



2022年 夏号  
発行：岸和田聖書教会  
岸和田市別所町 1-3-17  
TEL：072-422-1961

わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。

ヨハネの福音書 14章 6節

## 準備はいいですか？

牧師 栗原 純人



二十年以上牧師をする中で、たくさん「お別れ」を経験してきました。おひとりおひとりが、自分なりの「終活」をしておられたのだと、振り返って思わされます。

Hさんは、初めてお会いしたとき、すでに九十近くになっておられました。奥様とともにご夫婦で聖書の勉強をするつもりが、Hさんは「自分には関係ない」と言わんばかり。私がお宅に行くと、いつでも、あつちを向いて趣味の本を読んでおられました。

そんなある日、Hさんの息子さんから電話をいただきました。「父の容体が良くな

いので、洗礼を授けてほしい」私は急いでHさんの入院先に行きました。息も絶え絶え、苦しそう。私は、大きな声で言いました。「こんにちは。くりはらです」。するとHさんは、いきなり私の頭をつかみ、ご自分の口元に私の耳を近づけました。そして、一文字一文字、言われたのです。

「ほ・ん・と・う・は・い・え・で・あ・な・た・の・も・と・に・い・き・た・か・た」

「本当は、家で、あなたのもとに、行きたかった」。

Hさんが言う「あなた」が、私ではないことがわかりました。彼は神さまに「あなた」と呼びかけて。本当は自分の家で神さまのもとに行きたかった。そうおっしゃったのです。Hさんは、私がお宅を訪問したとき、奥様にお話した聖書のことばをしつかり聞いていて、この神さまを認め、いつの間にか信じていたんだ。それがわかったので、洗礼を授けることにしました。

日を改めて、教会の者を連れて行き、私は病室でご夫婦それぞれに洗礼を授けました（手で水をすくい、頭に垂らすスタイル）。

すべての儀式が終わって家に帰ると、奥様からお電話が、かかってきました。「主人がなくなりました」。

病床で洗礼を授けてから、わずか三時間後

のことでした。

キリスト教では、人がなくなること「召天」と言います。そのとき、私は「天に召される（呼ばれる）」とは、こういうことなのか」と思いました。神さまが「もういいよ。わたしのもとに来なさい」と言われたのだ、と。

実は、あのベッドで、私の頭をつかんだHさんは、もう一言、別のことをおっしゃいました。

「家内をよろしく」

これは、牧師である私に言われたと理解しました。彼は自分のできる限りの「終活」を完成されたのです。

Hさんがお元気だったころ、ご自宅で聞いておられた聖書のことばを紹介します。

**わたしはよみがえりです。いのちです。**

**わたしを信じる者は死んでも生きるのです。**

ヨハネ 11章 25節

私たちが生きているときに犯したすべての罪をゆるすために、十字架で死なれ、三日目に復活されたイエス・キリストを信じる者は、死んで終わらない、よみがえりのいのちを持つのです。

このいのちの確信によって、私たちは安心して人生を全うすることができるようです。

あなたの準備はいいですか？

